

平成 31 年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	「博物館パスポート」を活用して実現する主体的な学修プログラム —「シルシル信知るゼミ」「国語基礎 AB」で展開する初年次教育—
実施組織 (または対象のカリキュラム)	教育学部
※連携する他学部・機関がある場合は記入	あがたの森文化館、開智学校、松本城、松本総合図書館
実施責任者(所属)	西 一夫 (教育学系)、山岸明浩(教育学系)
取組の目標	1. 地域文化資産を活用したフィールドワークの実施 2. 主体的に課題と関わり、解決に導く協働性 3. 地域や風土への愛着を深め、高等教育における学修基盤の形成 4. 初年次教育の充実とカリキュラム開発
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<p>【シルシル信知るゼミ】</p> <p>1. 協働性を涵養するための組織作り 共同作業によるフィールドワークとグループの関係作りを年度当初の授業で実施。以下の三点に配慮。①受講者の相互理解、②目的を明確して作業過程を見通す、③チーム相互の成果を理解・共有。</p> <p>2. 学習項目を明確化したフィールドワーク フィールドワークを建築物との関係で以下のように設定した。</p> <p>① 松本城(信州の歴史) ② 開智学校(信州の教育) ③ 旧制松本高等学校(信大の歴史)</p> <p>城郭建築や近代レンガ建築等の専門知識による講義(担当:山岸)をあわせて行うことで視察内容に広がりを持たせることができた。 それぞれの地域や歴史の特性を理解して主題に迫ることができた。</p> <p>3. さまざまなツールを活用した学習計画の立案: ① E-ALPS を活用したグループ活動の把握 ② 「博物館パスポート」活用による入館料の無料化を実現</p> <p>4. ポートフォリオの作成による学習成果の視覚化:リングファイルを活用して資料を整理してポートフォリオの作成:リフレクションにおいて効果が確認出来た。また、最終レポート作成においても有効であった。</p> <p>5. 蓄積される知の体系と地域文化理解:地域文化資産を実施見学することによって、その特徴や地域との関連についての知見を深め、学習拠点としての松本に対する意識の向上(松本市出身者でも同様の傾向)。</p> <p>【国語基礎 AB】</p> <p>1. 「伝統的な言語文化」学修の一環としてのフィールドワーク:「博物館パスポート」を活用して授業内容に関わる施設を課外学習として位置付け(松本城・開智学校・旧姓松本高等学校・窪田空穂記念館から 2 施設選択)</p>

		<p>2. 学部専門科目としての学修内容:地域文化への親和性を求める。地域文化資産への理解と共感の喚起。修了レポートの作成と共有(単位認定試験での記述問題として評価対象)。</p> <p>3. グループでの活動が難しく、個人での学修活動が中心であった。</p>
<p>2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望</p> <p>(達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述)</p>	<p>a. 達成できた</p> <p>b. おおよそ達成できた</p> <p>c. 半ば達成できた</p> <p>d. おおよそ達成できなかった</p> <p>e. 達成できなかった</p>	<p>(評価理由)</p> <p>【シルシル信知るゼミ】</p> <p>1. グループ内での作業を有効に進めるためのアイスブレイクに時間をかけたことが、最後まで有効な関係を維持できた(自己評価書)。</p> <p>2. 視察先を固定したことにより、学びの履歴を追跡できた(ポートフォリオ)。</p> <p>3. 資料を蓄積することによって、学びを各自が確認できるようになった(他の授業においても活用可能)。</p> <p>【国語基礎 AB】</p> <p>1. 履修コースによって選択施設に偏りがなく、各自の興味関心によって活動が位置づけられた。また個人での活動が中心であったが、施設見学ではこれまで形成してきた人間関係を活用した事例も認められた。</p> <p>2. 修了レポートの作成においても地域の文化施設への興味関心を喚起できたことが明らかとなった。</p> <p>3. 課外活動を評価対象としたことと、施設料金が無料であることが活動の積極性につながった。</p> <p>4. 学部必修科目「環境教育」での SDGsとの関連を持たせた点が領域横断的に連携できた。</p> <hr/> <p>(今後の展望)</p> <p>1. 地域組織(松本市教育委員会)との連携事業(博物館パスポート)を活用でき、今後さらなる活用方法について意見交換を行い、次年度に引き継ぐこととした。</p> <p>2. 学内での関連事業を積極的に授業内容に取り込む道筋をつけた(長野市の周辺自治体とのパスポート作成の検討を依頼)。</p>